

デイケア

デイケア見学にご来苑



園芸療法を学んでいる生徒さんが、授業の一環としてバラ苑のデイケアに見学に来られました。春に植えた「ジャガイモ」の収穫や、毎週行っている生け花、ゲームレクにも参加されました。「ご利用者様との会話もはずみ勉強になりました。」と喜んで下さいました。

学校法人ひらた学園 IWAD環境福祉専門学校
人間総合福祉学科園芸療法コース2年生とデイケアの皆さん



七夕様に願いを込めて書きました。
とても素敵な短冊が出来ました。



生け花

壁紙共同作品
「あさがお」

編集後記

長かった梅雨もようやく明け、いよいよ夏本番となりました。近頃では真夏日が続いており、熱中症に気をつけるようテレビやラジオで流れているのをよく耳にします。これを聞くと、暑い夏がやって来たのだと身構えてしまいます。そんな時には、夏の良いところを考えて乗りきることをお勧めします。夏には、花火大会や盆踊りの行事があります。風鈴を吊るして、音を楽しむのも涼やかです。また、そうめんや冷やし中華など、冷えた食べ物がとてもおいしく感じられる季節です。夏が苦手であれば、少しでも快適に過ごせるよう楽しむことが大切です。今年の夏も元気で過ごしていきましょう。
(リハビリ担当Y)

○屋上庭園より○
今年も蓮の花が咲いています。

広報誌

牛田バラ苑

夏号 2016.7.21 発行

介護老人保健施設牛田バラ苑に期待される役割

医療法人恒和会理事・牛田バラ苑施設長 三嶋 弘

牛田バラ苑が開所して、今年で15年です。日本の総人口に対する65歳以上の高齢化率は、2010年に23%でした。しかし、2025年には、30%になると推計されています。高齢者の増加により、認知症の方も、2010年の400万人から2025年には、700万人へと増加が予想されています。このような状況下で、牛田バラ苑は、次の様な取り組みで、地域に開かれた、信頼される老健施設を目指します。

- 包括的ケアサービスをする施設
- リハビリテーションをする施設
- 在宅復帰を手助けする施設
- 在宅での生活を支援する施設
- 地域に根ざした介護をする施設

地域の方々の協力で、これらミッションを着実にやりたいと思っています。住み慣れた地域で、長く生活をしたい高齢者の思いを実現するために、医療と介護が切れ目なく一体となり地域で完結する「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、医療機関、介護施設、行政、社会福祉協議会、町内会、老人クラブなどと協力します。牛田バラ苑で最近、関係者が集まり、認知症けあカフェを開催しました。

高齢者の増加に伴い大変深刻な認知症の問題にも、牛田バラ苑は、地域の方々と広く手を携えて、予防、ケアに取り組めます。住みやすい牛田地域・東区、広島市に向けて尽力をしています。

関係者・住民の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



認知症けあカフェは広島市認知症地域支援推進員（東区担当：福田さん）及び、オレンジパワーの皆様のお世話で6月30日に牛田バラ苑において「認知症になっても暮らしやすいまちづくり～牛田新町地区～」のテーマで開催されました。写真はその時の様子です。地域からたくさんの方に集まりいただきました。

〒732-0068 広島市東区牛田新町3丁目30-30

TEL：082-222-8000

FAX：082-222-8006

牛田バラ苑居宅介護支援事業所（3470102355）

介護老人保健施設牛田バラ苑（3450180108）

バラ苑の行事

牛田新町小学校6年生と交流会を行いました

動きの揃った組体操はとても格好よく、見ごたえがありました。

組体操

演劇

それぞれの出し物は、交流会のために子どもたちが考え、練習してきました。

リコーダー

リコーダー演奏

紙芝居

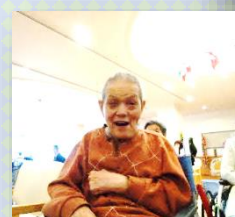
配膳のお手伝い

職員が付き添い、利用者さま1人1人のお名前を確認しながら配膳します。少し緊張しながらも、積極的に声をかけてくれていました。

牛田新町小学校6年生の皆さんが来苑してくれました。毎年行われているこの交流会では、合唱やグループ発表など、盛りだくさんの内容で、子どもたちがたくさんのおし物を披露してくれます。元気な声で進行してくれ、一生懸命発表している姿にはこちらも元気をもらいますね。利用者の皆さんも暖かい目で見ておられ、子どもたちとのふれあいを楽しまれていました。発表終了後は、昼食の配膳を手伝ってもらいました。ひとつひとつ丁寧に配膳し、「お食事どうぞ」「たくさん食べてください」と声をかけられ、笑顔で食事されていました。

来年の交流会も楽しみです。

小学生の合唱に涙がホロリ。

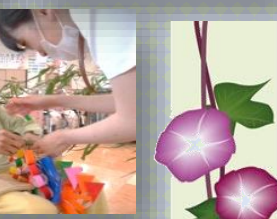


折鶴のプレゼントをいただきました。小さな鶴が連なったかわいらしい作品です。

七夕行事



レクリエーションにて七夕の飾りつけをしました。短冊に、利用者の皆さんに願い事を書いてもらっています。同じ時期に、早稲田中学校の3年生が職場体験学習に来ていたこともあり、一緒に飾りつけを行いました。



毎年恒例の七夕コンサートの様子です。竹屋マンドリンクラブの皆さんと小原さんにお越しいただき、素敵な演奏を披露していただきました。演奏に合わせて歌も歌いました。マンドリンの音色が涼やかに夏を感じさせてくれたひとときでした。お話と歌を披露された小原さんは浴衣で登場されました。



七夕に合わせた昼食です。バラ苑では季節に合わせた行事食をお出ししています。利用者さま以外の方もお召し上がりいただけます。

安心・安全な生活を目指して

バラ苑では、利用者さまが安心・安全に施設での生活を送れるよう居室の環境整備をしています。今回はその一例を紹介します。

①Pバー（L字バー）

ベッド柵に設置して使用します。ベッドから車イスやポータブルトイレに移るときの頼りになります。1人で移動するのが不安な方や半介助の方に使用します。柵が開閉することで持つ箇所ができ立ち上がる動作が安定します。

②ポータブルトイレ

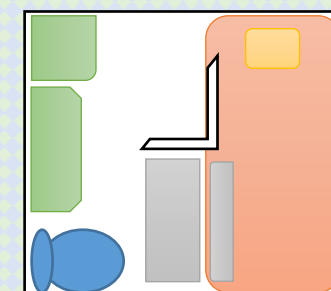
ベッドから離れることはできてもトイレまでいけない、またはその移動が不安定な人のためにベッドサイドで使用します。背もたれや肘置きがついており、座った時の姿勢も安定します。

③センサーマット

転倒の危険性が高い場合に使用します。当苑では床に敷くタイプとベッドサイドに取り付けるタイプがあります。起き上がった場合や、マットに足が乗った時にナースコールが自動で鳴るようになっています。

滑り止めマット

ベッドから立ち上がる時や車椅子へ移る時に足元を滑りにくくします。床にテープで固定して設置します。



居室環境の一例

ご紹介した物だけでなく、身体の状態にあわせてベッドの乗り降りの位置や、方向を工夫することでも利用者さまの生活環境を整えています。安心して過ごしていただけるよう今後も頑張ります。